

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28実績	前年度比	図書館運営全体	
図書館運営	基本的サービス					自己評価	外部評価
	資料購入費:決算数値(千円)	12,813	12,500	11,027	0.88	3 大変評価する。12.5% 2 ある程度評価する。87.5% 1 評価できない。0%	・あらゆる広報手段を活用してほしい。 ・新図書館になったばかりであるが、好条件とは思えない。区役所、文化会館の近くの区バスが停車する近くがベストだと思っている。新規登録者数が減少しているのが気になる。 ・活字離れが叫ばれる中、現状維持は努力の成果と判断する。利用者が固定化している傾向にあるため、より広く市民に活用してもらえるよう、広報をはじめとした手立てを講じると共に、図書館の在り方そのものについても検討し、時代に合った図書館づくりを進めてもらいたい。 ・本離れの時代の今、横ばいは仕方ないことだとは思いますが、楽しめるイベントなど工夫して利用者を増やしていけないだろうか。 ・入り口で警備員が見守っている。中では職員が笑顔で対応する体制作りがされていると思われるので、これからの伸びに期待したい。広報手段を利用しても意外と成果は上がらない。現場(学校、サークル等)でのPRを試みてはどうか。 ・登録者数を増加させる活動を何か実施したのであれば素晴らしいと思うが、未実施であれば今後に期待する。 ・利用者の獲得にはその層によって広報の手法が大きく変わらと思う。今までのやり方が悪いとは思わないが、FacebookやツイッターなどでPRすべきだと思う。新しくおしやれな建物なのだから写真をInstagramなどで上げたり、本のレビューを上げたりといういろいろやり方があると思う。すごく良いことを行っているのだから、あと一歩広報活動を工夫してほしい。
	蔵書点数(点):図書・AV	158,498	163,036	167,495	1.03		
	個人の貸出点数(点):雑誌・AV含む	312,102	352,585	354,559	1.01		
	個人の登録者数(人)	10,469	11,033	11,838	1.07		
	(内新規登録者数)	1,548	2,053	1,555	0.76		
入館者数(人)	135,732	184,717	180,591	0.98			

区分	評価指標	H26実績	H27実績	H28目標	H28実績	自己評点	H29目標	評価(次年度への展開)	
施策・事業(各図書館)	ネットワークを生かした「課題解決型図書館」							自己評価	外部評価
	レファレンス件数(件) ※資料の所蔵調査を含む	2,929	2,616	3,000	11,705	3	12,000	3 大変評価する。87.5% 2 ある程度評価する。12.5% 1 評価できない。0%	・数字にも出ているように、伸びて良い方向性だと思う。 ・個人予約件数及び所蔵調査を除いたレファレンス件数が大きく伸びたことは評価できる。この伸びにつながった要因を分析して、今後につなげてもらいたい。 ・平成28年度の実績から見たら、平成29年度の目標はもっと高い数値でもよいのではないか。 ・非常に利用しやすく、丁寧に対応してもらっている。新津図書館の強みになるのではないか。 ・計数方法を統一して増加したということはこれまでで過小評価だった可能性がある。 ・対応数が伸びていることは良いと思う。相談しやすい雰囲気図書館だと思う。
	個人予約件数(件)	51,479	55,000	58,000	61,825	3	62,000		
	ビジネス支援サービス相談受付件数(件)	-	-	-	-	-	-		
	特色ある地域づくりに寄与する「分権型図書館」							自己評価	外部評価
	郷土・行政資料の蔵書冊数(冊)	15,452	15,730	16,000	15,963	2	16,100	3 大変評価する。12.5% 2 ある程度評価する。87.5% 1 評価できない。0%	・郷土資料は大切である。必要とするときに必要な方が見られる状態であれば良い。 ・郷土資料を揃えておくことは、利用の多少によらず図書館の役割として意義のあることである。今後も続けてもらいたい。 ・貸出冊数は減少しているとのことであるが、平成29年度のような郷土の講演会など魅力ある町を伝えてもらうことで関心が高まるのではないか。 ・郷土資料の促進につながる新たな活動を検討すると良い。但し、何か不要な業務を決めることが前提。 ・今後も郷土資料を着実に集めてほしい。
	郷土・行政資料の貸出冊数(冊)	3,165	3,436	3,500	3,259	1	3,500		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進以外の派遣	-	-	1	3	3	3		
	公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進以外の事業	-	-	1	0	1	-		
	子どもの読書活動を推進する「学・社・民融合型図書館」							自己評価	外部評価
	児童書の貸出冊数(冊)	83,620	93,686	95,000	95,127	2	96,000	3 大変評価する。12.5% 2 ある程度評価する。75% 1 評価できない。12.5%	・子どもの読書活動の推進にはこれからも力を入れていって欲しい。園や学校、保護者への働きかけもしてほしい。 ・幼児を中心に読み聞かせの影響もあり増加は評価する。 ・小・中・高校生の本離れが加速しているため、PRが必要。「読書感想文コンテスト」をやって表彰、区だよりに記載するなどアイデアが出るように。 ・職場体験の生徒が司書希望してほしい。 ・団体貸出の増加に向けて、学校への働きかけの具体を検討することが大切である。学校のニーズを把握して活用しやすいシステムを構築することや、これまでの実績から貸出期間や内容を把握し、タイミングをとらえた早めの広報(攻めの広報)を行うなど工夫を求めたい。 ・放課後児童クラブでは大いに利用させていたが、他の団体はどのような分野の本を求めているのだろうか。学校の図書室には無い本はどのようなものか、調査も必要だと思う。 ・団体貸出が減少したのは残念だが、図書館セレクトが浸透していけばもっと伸びてくるのではないかと期待する。 ・依頼や要請があった事業に対しては参加されているが、図書館側から具体的な働きかけや活動が見えていない。 ・小中学校の貸出ニーズが変わってきている可能性があるため、調査をしてから働きかけを行った方が効果的だと思う。 ・貸出数を増やすのであれば、地域の放課後教室や子育て支援センターなどとも連携すると良いのではないかとと思う。
	小・中・高等学校への団体貸出冊数(冊)	3,151	5,119	5,300	4,209	1	4,500		
	子ども・親子対象事業の参加者数(延人数)	2,779	3,068	3,200	3,282	2	3,300		
	職場体験受入人数(人)	21	5	6	7	3	8		
	職員の派遣人数(延人数) ※子ども読書推進に関わる派遣	2	2	2	1	1	2		
公民館等との連携・協力事業数(件) ※子ども読書推進に関わる事業	-	2	3	0	1	-			
市民参画と協働を推進する「パートナーシップ型図書館」							自己評価	外部評価	
図書館ボランティア活動者数(延人数)	717	644	700	556	1	600	3 大変評価する。25% 2 ある程度評価する。50% 1 評価できない。12.5%	・新潟薬科大学も地元にあるのだから連携して多くの子どもたちを集めて簡単な実験を行ってみる。色々実施していても広く伝わっていないように感じる。 ・ボランティア団体交流会参加者が0人であったことについて、原因分析を進め、次年度の確実な参加につなげることが重要である。 ・配架ボランティアは図書館に本を借りに行った時のついでにというわけにはいかないだろうか(日時が決まっているとやりにくい)。 ・ボランティア活動はどの会でも減少傾向にある。時代背景の一つではないか。その中でも人数や共催、協働事業の実施件数などが多くなっていることは評価する。 ・ボランティアの募集はどの図書館でも苦勞していると思うが、ボランティアのメリットを打ち出せなければなかなか集まらない。この点に工夫を凝らせば先進的な取り組みになると思う。 ・ターゲットを絞った広報を行えばもっと賑わうと思う。	
ボランティア団体交流会参加者数(延人数)	5	6	6	0	1	5			
利用者の意見を把握する機会の設定(回)	2	2	3	2	1	3			
共催・協働事業の実施件数(件)	-	14	15	17	3	20			
効率的・効果的な運営(職員)							自己評価	外部評価	
研修参加職員数(延人数)	12	26	30	57	3	60	3 大変評価する。62.5% 2 ある程度評価する。37.5% 1 評価できない。0%	・専門研修にとどまらず、接遇研修、仕事の効率化を学ぶ研修に職員を派遣することができ、それぞれ学んだことを活かしている。	

※「自己評点」欄の数値について …… 3:目標値を上回って達成 2:目標どおり達成 1:目標値を下回った